

DOCUMENT / FREE

Legal GPT 編集部

NDAレビューで 毎回確認している 10項目

ひとり法務・中小企業法務のための実務メモ

A4 / 約13ページ / 読了 5分

発行 Legal GPT 編集部

URL legal-gpt.com

用途 社内法務メモ・新人引き継ぎ

FOR INTERNAL USE

INTRODUCTION

はじめに

本資料は「NDAレビューのベストプラクティス集」ではなく、編集部が日常的に使っている確認観点を、そのまま整理した実務メモです。

対象としているのは、ひとり法務・中小企業法務・管理部門兼任で法務を見ている方など、NDAレビューの件数が多いのに人が増えていない環境で働く方です。

次の3つの用途を想定しています。

- (1) 自社のNDA運用の点検 —— 自分の見方に抜けがないかを照らし合わせる
- (2) 新人法務への引き継ぎ —— 最初に渡す観点リストとして使う
- (3) AI導入時の線引き整理 —— どこまでAIに任せ、どこを人が判断するかを目安

本資料は法律意見書ではありません。個別案件の判断は、必ず御社の顧問弁護士にご確認ください。

もしお時間があれば、P10「AIで整理しやすい部分／人が判断すべき部分」から読み始めていただくと、本資料の意図が伝わりやすいかもしれません。

WHY NDA EXHAUSTS YOU

なぜNDAレビューだけで疲弊するのか

処理が遅いのではなく、NDAレビューの構造そのものが時間を吸う形になっていることが多いです。主な理由は3つあります。

REASON 01

件数は増えても、優先度は下げられない

NDAは商談の入口に置かれることが多く、営業からは「今日中に」「明日朝までに」と依頼が来ます。本来やるべき大型契約のレビューが、NDAで止まる構造です。

REASON 02

似ているが、同じではない

NDAは内容が定型的に見えて、目的・秘密情報の定義・残存義務・管轄が、案件ごとに少しずつずれます。「前と同じ」と思った瞬間に、見落としが起きやすい類型です。

REASON 03

修正文案を、毎回書き直している

観点を整理しても、修正文案を書く工程はゼロからになりやすい。ここに型がないと、レビュー時間は短くなりません。観点と文案、その両方を整える必要があります。

SCOPE & DISCLAIMER

本資料の前提と免責

■ 本資料の前提

本資料は、日本国内法に基づくNDA(秘密保持契約・機密保持契約)を主たる対象としています。クロスボーダー案件においては、相手国法・現地慣行・国際仲裁条項などの追加観点が必要となります。

■ 対象読者

ひとり法務・中小企業法務・管理部門兼任で法務を見ている方。弁護士・大企業の専任法務の方には、すでに自明の内容が含まれる場合があります。

■ 免責事項

本資料は編集部の実務経験に基づくメモであり、法律意見書ではありません。個別案件の最終的な判断は、必ず御社の顧問弁護士・社内法務責任者の確認のもとで行ってください。本資料の利用によって生じた損害について、Legal GPT 編集部は責任を負いません。

■ 利用範囲

同じ法人内のチームメンバーへの共有は問題ありません。社外への再配布、商用利用、AIモデルの学習データとしての利用はご遠慮ください。

■ 更新について

本資料は法令改正・実務動向を踏まえて、Legal GPT のメール購読者向けに随時更新版を配布する予定です。

ITEM 01 & 02

NDAレビュー 10項目

01 秘密情報の定義

何を見るか

何を秘密情報とするか（書面マーキング要件の有無、口頭情報の扱い、派生情報の扱い）。除外事由（公知情報、独自開発、第三者から正当に取得した情報など）。

揉めやすい・見落としやすい点

「秘密と明示されたもの」に限定する条項を入れ忘れると、社内のあらゆる情報が秘密扱いになり管理コストが増す。営業は「広く守ってほしい」と考え、受領側は「狭く受けたい」。立場で読み方が逆になる。派生情報（受領情報を加工・分析して作った成果物）の扱いは抜けやすい。

AIで整理しやすい部分

一般的な定義パターンとの差分の検出。除外事由の網羅性チェック。

人が判断すべき部分

当該案件で何を実際に保護したいか。自社が開示側か受領側かによる調整方向。

02 目的外利用の禁止

何を見るか

「目的」の定義の幅。関連目的・派生目的の取扱い。違反時の効果（解除、損害賠償、差止め）。

揉めやすい・見落としやすい点

目的が「両社間の取引検討」のみで、「取引実行」が抜けていると、契約締結後の利用が形式上目的外になる。目的を狭く書きすぎると後で困り、広く書きすぎると目的限定の意味がなくなる。

AIで整理しやすい部分

目的条項の文言抽出と一覧化。

人が判断すべき部分

ビジネスの将来的な利用シナリオまで含まれているか。

NDALレビュー 10項目

03 第三者開示の制限

何を見るか

開示可能な範囲（役員・従業員・専門家）。グループ会社・親会社の扱い。法令・裁判所命令による開示の例外。

揉めやすい・見落としやすい点

親会社・子会社・関連会社のどこまでが「自社の役職員」と同等に扱われるか曖昧なまま締結される。弁護士・会計士・税理士など「秘密保持義務を負う専門家」への開示が明文化されていない。法令開示時の事前通知義務が抜ける。

AIで整理しやすい部分

例外規定の網羅性確認。

人が判断すべき部分

自社の組織構造（グループ内連携の実態）と条文が一致しているか。

04 再委託

何を見るか

再委託の可否と事前承諾の要否。再委託先に課す義務水準。再委託先の行為に対する責任。

揉めやすい・見落としやすい点

「再委託禁止」と書かれていても、自社のクラウドベンダーや業務委託先が事実上の再委託に該当することがある。再委託先に「本契約と同等以上の義務」を課す条項の有無。再委託先の行為について「自らの行為と同様」に責任を負うか。

AIで整理しやすい部分

標準的な再委託条項との比較。

人が判断すべき部分

自社のオペレーションで守れる水準か。

ITEM 05 & 06

NDALレビュー 10項目

05 保管・管理義務

何を見るか

義務水準(善管注意義務／自己の情報と同等の注意／合理的な注意)。電子データの管理基準。漏えい時の通知義務。

揉めやすい・見落としやすい点

「自己の情報と同等の注意」の場合、自社のセキュリティ水準が低いと相手方の同意なく低水準で扱える反面、相手方が高水準を求めてくる根拠が弱くなる。漏えい時の通知期限(24時間／速やかに)が見落とされやすい。

AIで整理しやすい部分

義務水準の表現を一覧化。

人が判断すべき部分

自社の情報セキュリティ体制と整合するか。

06 返還・廃棄

何を見るか

契約終了時の処理(返還・廃棄・選択)。廃棄証明書の要否。バックアップ・自動保存データの扱い。

揉めやすい・見落としやすい点

メールやチャットツールに残った受領情報の控えは、現実問題として完全廃棄ができない。廃棄証明書を発行する社内体制が整っていないのに「発行する」と約束してしまう。

AIで整理しやすい部分

廃棄プロセスの条文整理。

人が判断すべき部分

自社のITインフラ上で実行可能か。

ITEM 07 & 08

NDAレビュー 10項目

07 期間

何を見るか

NDA自体の有効期間。秘密保持義務の存続期間。自動更新条項の有無。

揉めやすい・見落としやすい点

NDAの有効期間と秘密保持義務の期間は別物だが、混同したまま締結されることがある。「永久に秘密保持」と書かれている場合の現実性。自動更新があると気付かないまま義務が継続する。

AIで整理しやすい部分

期間構造の図示化。

人が判断すべき部分

対象情報の営業秘密性・陳腐化スピードとの関係。

08 損害賠償

何を見るか

賠償の範囲(直接損害/間接損害/逸失利益)。賠償の上限の有無。違約金・差止めの規定。弁護士費用の取扱い。

揉めやすい・見落としやすい点

上限なしの条項を、内容を吟味せず受けてしまう。差止めの規定が片面的(相手方にだけ有利)になっていることがある。損害立証の困難さに対する違約金条項の有無。

AIで整理しやすい部分

賠償条項の構造整理。

人が判断すべき部分

取引規模・自社のリスク許容度との整合。

ITEM 09 & 10

NDAレビュー 10項目

09 残存義務

何を見るか

契約終了後も残る義務の範囲。残存期間。残存させる条項の特定方法。

揉めやすい・見落としやすい点

「本契約の終了後も〇年間有効」と書かれているが、どの条項が残るのか具体的に列挙されていない。残存義務が広すぎて、実質的に契約終了の意味がなくなっている。損害賠償条項が残存対象に含まれているか。

AIで整理しやすい部分

残存条項のパターン提示。

人が判断すべき部分

当該情報の性質と残存期間のバランス。

10 管轄・準拠法

何を見るか

準拠法（日本法／相手国法）。専属合意管轄か非専属か。国際仲裁条項の有無。

揉めやすい・見落としやすい点

クロスボーダー案件で、相手方所在地の裁判所が専属管轄になっていることがある。仲裁条項と管轄条項が併存し、優先関係が不明確。国内案件でも、相手方本社所在地での管轄になっている。

AIで整理しやすい部分

管轄条項のパターン抽出。

人が判断すべき部分

紛争時の現実的な対応コスト。

AI & HUMAN BOUNDARY

AIで整理しやすい部分／人が判断すべき部分

AIは「観点が抜けていないか」「文言が標準的か」を整理する道具です。判断は人がします。本資料の各項目に書かれている内容を、観点別に一覧化したものが下表です。

項目	AIで整理しやすい	人が判断すべき
定義条項	文言抽出・標準パターン差分	守るべき情報の特定
目的条項	目的の幅の一覧化	将来の利用シナリオ
第三者開示	例外規定の網羅性	グループ構造との整合
再委託	標準条項との比較	オペレーション実行可能性
保管・管理	義務水準の表現整理	セキュリティ体制との整合
返還・廃棄	プロセスの文言整理	実際に廃棄できるか
期間	期間構造の図示	情報の陳腐化スピード
損害賠償	賠償条項の構造整理	リスク許容度との整合
残存義務	残存パターンの提示	残存範囲の妥当性
管轄・準拠法	条文パターン抽出	紛争時の現実的コスト

AIに任せていい範囲をあらかじめ決めておくと、レビューの初動が早くなります。「AIに丸投げ」ではなく、「観点をAIに渡して、人が判断する」設計が現実的です。

HOW TO LIGHTEN OPERATIONS

NDALレビュー運用を軽くする考え方

観点を10項目に整理しても、運用が変わらなければレビュー時間は短くなりません。ここでは、編集部が実際に運用面で意識している4つの考え方を共有します。

01 / 観点を固定する

毎回ゼロから読むのではなく、本資料の10項目のような「読む順番」を固定します。順番が固定されていれば、案件ごとの差分だけに集中できます。

02 / 修正文案の型を持つ

観点と同様に、修正文案にも型を持ちます。「秘密情報の定義を限定する」「再委託に事前承諾を入れる」といった頻出の修正パターンを、自社用のひな型として手元に置いておきます。

03 / 履歴を残す

誰が、いつ、どの観点で、どう修正したかを残しておく、次の案件で参照できます。属人化を減らす最初の一步です。

04 / 「気になります」と返さない仕組み

曖昧な返答は、後で自分を苦しめます。観点と修正文案の型があれば、その場で「ここをこう修正したい」と返せるようになります。

観点を整え、文案の型を持ち、履歴を残す。

この3つが揃うと、NDALレビューは「重い作業」から「軽い確認」に変わります。

ABOUT LEGAL GPT

Legal GPT について

Legal GPT は、法務×AIの観点整理を発信しているメディア・プロダクトです。「AIに丸投げ」ではなく、「観点をAIに渡して、人が判断する」設計を一貫して提案しています。

MEDIA

Legal GPT ブログ

契約レビュー、ハラスメント調査、労働法改正、フリーランス法、個人情報保護、営業秘密管理など、法務実務の観点整理を継続的に発信しています。

PROMPTS

プロンプト集

契約書AIレビュー、ハラスメント調査、労働法改正、フリーランス保護、個人情報保護、営業秘密管理など、観点を整理したプロンプトを実務単位で提供しています。

PRODUCT

LegalOS シリーズ

契約レビュー、マスキング、法律相談、インテーク等を統合した、法務オペレーション運用のためのデスクトップツール群です。

RELATED & CONTACT

関連リソース・お問い合わせ

次に読んでいただきたい記事

- NDAの目的限定と残存義務|悪例→良例の条項修正カタログ
本資料の「目的外利用」「残存義務」を、具体的な修正文案として整理。
<https://legal-gpt.com/nda-mokuteki-zanson-2025/>
- 契約書レビューをAIで効率化する方法|10STEP型プロンプト
NDA以外の契約にも応用できる、AI×契約レビューの10ステップ運用。
<https://legal-gpt.com/contract-ai-review-prompts-guide/>
- AI契約書レビューは弁護士法72条違反?|非弁リスクと社内法務の安全運用
AI契約レビューと弁護士法。社内法務でどこまで運用できるかを整理。
<https://legal-gpt.com/ai-contract-review-lawyer-law-72/>

観点の次は、文案の型

本資料で観点を整理したあと、修正文案を整える工程を軽くしたい方には、「契約書AIレビュー プロンプト集」をご用意しています。観点を10ステップに分解し、各ステップでAIが整理しやすい指示文と、修正文案の下書きまで一気通貫で扱える設計です。

契約書AIレビュー プロンプト集

詳細 → legal-gpt.com/contract-ai-review-prompts/

お問い合わせ

Web : legal-gpt.com/contact/

本資料に関するご感想・改善要望もお気軽にお寄せください。